

エピソード

① 手回しゴマを机の上で回して遊んでいたAさんとBちゃん。「回ったで!」「端っこで回ってる!」と、コマがクルクル回る様子や机の端からコマが落ちずに回る様子に微笑んだり、じっと見つめたりして遊んでいました。

② 繰り返し遊んだ後、Aさん「この上で回してみる!」と、ポケットからハンカチを取り出して机の上に広げました。Aさん「やってみるで」と、手のひらでコマ軸を回転させながらハンカチの上のせると少しゆっくり回りました。保育者「回ったね」、Aさん「うん。回った」と話し、再び回して遊んでいました。

③ 近くでコマを回して遊んでいたCちゃん、Dちゃんがその様子に惹かれてやってきました。保育者が「こんなものもあるよ」と四角や三角形のダンボールをそっと出すと、C・Dちゃんはその上でコマを回し始めました。コマは2、3回転しますがすぐに止まり、「あれ!?!」と2人は顔を見合わせました。

④ A・Eくんは小さな机の上にカプラを敷き詰めたり、縁を囲ったりしていきます。Aさん「やってみるで」と、コマをカプラの上のせるとクルクルと回りました。Eくん「回った!」、保育者「カプラの上でも回ったね」と一緒にコマの様子を見つめました。

子どもの育ちや学び

①・手のひらを前後に動かし、コマ軸を回転させる、コマを落とす
 (手先を使う)
 ・コマが回る速さや時間を体で楽しむ
 (速さ・時間)

②・ハンカチの上で回してみようとする
 ・ハンカチの上でも回ることを知る
 ・①よりもコマがゆっくり、短く回ることを知る
 (速さ・時間の違い)

③・ダンボールの上では回るがすぐに止まることを知る (速さ・時間の違い)
 ・ダンボールの上はコマをのせにくいと感じる

④・カプラの上で回すことや、コマが落ちないようにするために縁で囲うことを考える

回ったで!
 (面白さ・喜び)



あれ!?!
 (疑問)



回った!
 (面白さ・喜び)



保育者の思い

- ・コマを使って遊べたらいいなと思い、遊びに誘いかけたり、遊びの場を広げたりしました。
- ・ハンカチの上でコマを回すという子どもの考えに面白さを感じました。ハンカチの上では回らないだろうと思いましたが、回る時間が短く、回転速度はゆっくりでしたが回ったことに保育者も驚きました。
- ・ハンカチの上でコマを回す姿から、コマを回して遊ぶだけでなく、ものの上でコマを回すことも楽しんでいると思い、近くにあった四角や三角形のダンボールを遊びの場にそっと置きました。
- ・コマを回して遊んでいた場の近くにあったカプラを机に敷き詰め、縁を囲う姿がありました。身近にあるものを使って遊ぶという姿にもものとの関わりが広がってきていると感じました。また、縁を囲う様子からコマが床に落ちないようにしているのかなと思いました。

家庭だったら・・・

コマ遊びの中でも、いろいろな方法で遊んでいた姿に成長を感じました。子どもの「やってみよう」と思う気持ちや、「やってみよう」とする姿、「やってみよう」とする姿、「やってみよう」とする姿から感じたことを大切にしていきたいですね。